


[果樹部門 平成 31 年度 指導参考資料]

事 項 名	りんごのオオタバコガによる果実被害の特徴と幼虫に対する殺虫剤の効果		
ね ら い	オオタバコガはこれまで野菜や食用作物の害虫として知られてきたが、近年、青森県で特異的にりんご果実に対する食害が認められるようになった。そこで、りんごにおける被害の特徴を示すとともに、幼虫に対して効果のある殺虫剤を明らかにしたので参考に供する。		
指 導 参 考 内 容	<p>1 被害の特徴          幼虫がりんごの果実に穴をあけ、果肉を食害する。加害するのは主に中齢以降の幼虫で、体のサイズに応じて直径2mm～5mm程度の穴をあけるが、穴は果肉の途中で止まり、果心部まで達しない。幼果の被害は少なく、主に収穫期に近い8月以降の果実が加害される。同時期に見られるハマキムシ類による果実被害は、幼虫が果実と葉をつづり合わせて間に潜み穴を開けるため、果実表面に葉が付着していた痕跡（着色不良部）やつづり合わせた糸が残っていることで区別することができる。</p>  <p>2 りんご園における成虫の発生時期          フェロモントラップへの雄成虫の誘引は、5月下旬に始まり、7月中旬までは少なく推移する。その後、7月中旬から増加し始め、7月下旬を盛期として8月上旬には減少する。8月下旬から再び増加し、9月中旬を盛期として10月上旬に終息する（図1）。</p> <p>3 幼虫に対する殺虫剤の効果          中齢幼虫に対して、ジアミド剤（IRAC 28：サムコルフロアブル 10、エクシレルSE、フェニックスフロアブル）の効果は高い（表1、2）。発生が多い園地では、発生に応じてジアミド剤を散布する。</p>		
期待される 効 果	オオタバコガによるりんごの果実被害を見分けることができ、発生が多い園地では殺虫剤による防除を行うことで被害が軽減される。		
利 用 上 の 注 意 事 項	<p>1 本資料は平成30年12月7日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用すること。</p> <p>「農薬情報」(<a href="http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/">http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/</a>)          「農薬登録情報検索システム」(<a href="http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm">http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm</a>)          また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用すること。</p>		
問い合わせ先 (電話番号)	りんご研究所 病虫部 (0172-52-2331)	対 象 地 域 及び経営体	県下全域のりんご 作経営体
発表文献等	平成 29～30 年度 りんご研究所試験研究成績概要集（りんご） 平成 29 年度 新農薬実用化試験成績（寒冷地果樹）		

【根拠となった主要な試験結果】

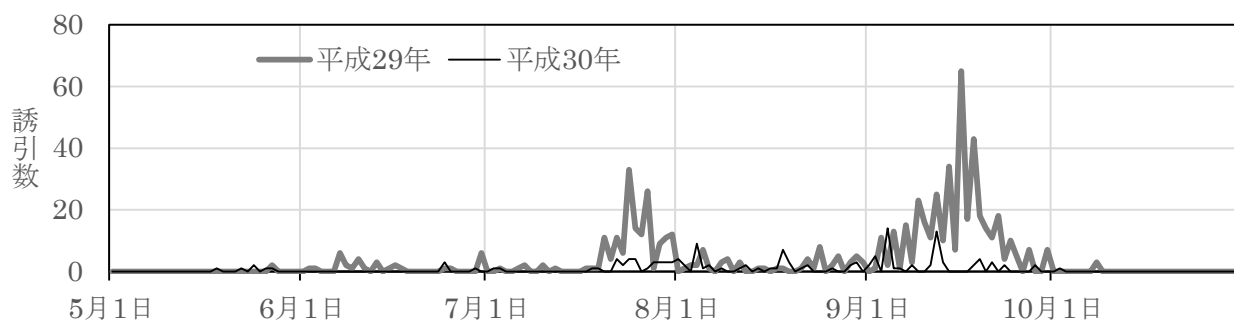


図1 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘引消長 (平成29～30年 青森りんご研)  
 (注) りんご研究所の殺虫剤無散布圃場にオオタバコガを対象としたフェロモントラップを1台設置し、雄成虫の誘引数を毎日計数した。

表1 オオタバコガ中齢幼虫に対する殺虫剤の効果-1 (平成29年 青森りんご研)

薬剤名	希釈倍数	供試虫数	生存率	被害果率	食害痕数/果
サムコルフロアブル10	5,000倍	60	0%	80.0%	1.0
エクシレルSE	5,000倍	40	0	0	0
フェニックスフロアブル	4,000倍	60	0	0	0
無散布	—	60	96.4	100	11.0

(注) 8年生「ふじ」/M. 26を1区当たり側枝3本供試し、7月18日に各薬剤を散布した。散布5時間後に側枝にネットをかぶせて、中齢幼虫を放飼した。散布3日後に幼虫の生死と果実被害について調査した。

表2 オオタバコガ中齢幼虫に対する殺虫剤の効果-2 (平成29年 青森りんご研)

薬剤名	希釈倍数	供試虫数	散布10日後		散布18日後	
			生存率	補正死亡率	生存率	補正死亡率
サムコルフロアブル10	5,000倍	60	2.3%	97.5%	11.1%	87.7%
エクシレルSE	5,000倍	60	6.3	93.1	5.6	93.8
フェニックスフロアブル	4,000倍	60	0	100	0	100
無散布	—	60	90.0	—	90.0	—

(注) 11年生「ふじ」/M. 26を1区当たり側枝3本供試し、7月31日又は8月8日にそれぞれ異なる側枝に各薬剤を散布した。散布10日後又は18日後に相当する8月18日に各側枝から採取した新梢中位葉を3枚ずつ容器に入れ、2～3齢幼虫20個体を放飼した。放飼3日後の8月21日に幼虫の生死を調査した。

(参考価格) 10a当たり5000散布で、サムコルフロアブル10 : 1,960円(税込み)、  
 エキシレルSE : 1,960円(税込み)、  
 フェニックスフロアブル : 1,960円(税込み)